

〔論文〕

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (10)

樋 口 勇 夫

名古屋学院大学国際文化学部

要 旨

幾つかのJ-POP広東語カバー曲では、オリジナル曲の楽音の高さを、ある特定の音符だけ個別に変えてあり、それはその音符に対応する歌詞の漢字の声調と関係がありそうである。

拙稿「(1)～(5)」(2010～2014)にて、1984年から2010年のJ-POP広東語カバー曲、計50曲を例にその様相を探り、拙稿「まとめ(その1)・(その2)」(2015a・2015b)にて50曲のまとめを行なった。拙稿「(6)」(2016)にて、オリジナル曲の楽音の高さを、広東語カバー曲では下降する2楽音に変えてあり、且つ、その歌詞の漢字声調が「第1声(陰平)」の場合について、同一歌手が歌っている共通語カバー曲と比較することにより、広東語カバー曲特有の様相を探った。その後、引き続き拙稿「(7)・(8)・(9)」(2018・2019・2021)にて、新たに30曲、これまでに計80曲を分析した。

本稿では、1987年から2002年までのJ-POP広東語カバー曲10曲を例に、引き続きその様相を探る。

キーワード：声調，楽音，広東語，カバー曲，J-POP

The influence of Chinese character tones on the musical sounds in some Cantonese versions of Japanese pop songs (10)

Isao HIGUCHI

Faculty of Intercultural Studies
Nagoya Gakuin University

発行日 2022年10月31日

0. はじめに

本稿では、拙稿「(1) ～ (5)」(2010 ～ 2014) および「(7)・(8)・(9)」(2018・2019・2021)に引き続き、それらとは別のJ-POP広東語カバー曲10曲を対象に、調査を行なった。

0.1 広東語の声調

広東語の声調は表1の通り¹⁾。

表1

				-p, -t, -k 韻尾	
調類	陰平	陰上	陰去	上陰入	下陰入
千島式ローマ字声調No.	第1声	第2声	第3声	第1声	第3声
調値	□55 (～□53) ²⁾	□35	□33	□5	□33
調値の型	高平 (～高降) ²⁾	高昇	中平	高平	中平
調類	陽平	陽上	陽去	陽入	
千島式ローマ字声調No.	第4声	第5声	第6声	第6声	
調値	□21	□23	□22	□2/□22	
調値の型	低降	低昇	低平	低平	

0.2 拙稿「(9)」(2021) までにおける調査結果

拙稿「(1) ～ (5)」(2010 ～ 2014) および「(7)・(8)・(9)」(2018・2019・2021) にて、1977年から2010年までのJ-POP広東語カバー曲、計80曲³⁾を調査し、以下のことがわかった。

広東語カバー曲で楽音の高さを変えてある場合は、次の幾つかのタイプに分類できる。([] 内は各タイプの略称。)

1. 当該音節の声調と関係が有る。

- 1.1 [その1音節] その1音節の高さを変える。
- 1.2 [数音節] 数音節をまとめて高さを変える。
- 1.3 [別部分(有)] 同じ曲の別の部分を転用する。
- 1.4 [リズム] 数音節をまとめて、高さだけでなくリズムも変える。
- 1.5 [陰平53]「第1声(陰平)」の高降調の方の調値「□53」に合うように、下降する2楽音に変える。
- 1.6 [陰上35]「第2声(陰上)」の上昇調の調値「□35」に合うように、上昇する2楽音に変える。
- 1.7 [陽上23]「第5声(陽上)」の上昇調の調値「□23」に合うように、上昇する2楽音に変える。

- 1.8 [音程] 直前/直後の音節との音程が広すぎる/狭すぎるので、適切な音程に調整してある、と考えられる。
- 1.9 [加える] オリジナルには無い楽音を加える。
2. 当該音節の声調と関係が無い。
- 2.1 [一楽音に] 上昇/下降する2(～3) 楽音を1楽音に変える。
- 2.2 [向かう] 直後の、より高い/低い楽音に向かうため、オリジナルの1楽音または同一の高さの2楽音を、カバーでは上昇/下降する2(～3) 楽音に、或いは、直前の楽音から直後の楽音への渡りとなる1楽音に、それぞれ変えてある、と考えられる。
- 2.3 [消失音] オリジナルにおける直前/直後の楽音を変えた結果、オリジナルのメロディーラインから消失した楽音を補うために、二次的に、オリジナルにおける直前/直後の楽音に変えてある、と考えられる。
- 2.4 [音程保つ] オリジナルにおける直前/直後の楽音を変えた結果、オリジナルにおけるその楽音との音程を保つために、二次的に変えてある、と考えられる。
- 2.5 [別部分(無)] 同じ曲の別の部分を転用する。
- 2.6 [前後] 前/後の楽音の高さに揃える。
- 2.7 [声域] 歌手の声域に合わせる。
- 2.8 [不明] 目下のところ、理由不明。

0.3 調査対象とした曲

調査対象とした曲は、表2の通りである。

「No.」欄は、本稿で扱う順で、広東語カバー曲の発表年順（広東語カバー曲の発表年が同じ場合は、オリジナル曲の発表年月日順）。

「調」欄の、大文字はMajor（長調）を、小文字はminor（短調）を、それぞれ表わす。

カバー曲の「調」欄の網掛けは、オリジナル曲と異なることを示す。

表 2

No.	カバー曲				オリジナル曲			
	年	曲	調	歌手	年	曲	調	歌手
1	1987	拒絶再玩	a	張國榮	1987	じれったい	b	安全地帯
2	1991	飄雪	C	陳慧嫻	1991	花咲く旅路	C	原 由子
3	1992	還是覺得你最好	F	張學友	1992	愛してる	F	米米CLUB
4	1998	不敢說我愛你	D-d-D	古巨基	1997	Love is …	E ^b -e ^b -E ^b	河村隆一
5	2000	JR幹線	C	小雪	1999	愛しい人	C	MISIA
6	2001	仍是這首歌	F	王 喜	1999	サヨナラバス	C	ゆず
7	2001	樂園	b	梁浩賢	2000	樂園	c	平井 堅
8	2001	起飛	E ^b	高晨維	2000	Why	B	平井 堅
9	2002	小怪物	G	王 喜	2000	嗚呼、青春の日々	A	ゆず
10	2002	Again	D	王 喜	2002	アゲイン2	G	ゆず

楽譜は、筆者が音源を聞いて記譜した。カバー曲の調がオリジナル曲と異なる場合は、比較し易いように、オリジナル曲の方を移調し、カバー曲の方の調に揃えた。従って、本稿中で言及するオリジナル曲の楽音の高さは、カバー曲と同一の調に移調した後のものである。

「調形（平ら/昇り/降り）に関わらず、声調の始点ではなく、終点に関与している」（Chan1987）に基づき、楽譜中、調値イメージの下に、音節末の調値を数字で示す。また、「第1声（陰平）」の字が、下降する2楽音に対応する場合（高降調□53の方を用いる）や（拙稿2010）、「第2声（陰上）」（□35）の字が、上昇する2楽音に対応する場合（拙稿2013b）、および、「第5声（陽上）」（□23）の字が、上昇する2楽音に対応する場合（拙稿2018）は、「終点だけでなく始点も関与している」ので、それぞれ、「53」「35」「23」のように、音節初頭・末尾とも表示して下線を引く。

尚、以下の場合には、「楽音の高さを変えていない」と見なす。

1. オリジナル曲の楽音が、カバー曲ではリズムのみ異なる場合。
2. オリジナル曲の楽音が、カバー曲では、mordent/pralltrillerのように、一旦2度下/上の楽音を経た直後に元の高さの楽音に戻る場合。
3. 2. とは逆に、カバー曲の楽音が、オリジナル曲では、mordent/pralltrillerのように、一旦2度下/上の楽音を経た直後に元の高さの楽音に戻る場合。

1. 張國榮 1987「拒絶再玩」（安全地帯 1987「じれったい」）

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・A'・B・A''・A'''に分ける。

1.1

A (1 ~ 4小節目)

①

わ か ら ず や の ん れ た く ち び る で し

①

知 你 今 晚 很 想 憑 著 遊 玩 來 代 替 — 悶 尋

☐☒ ☐☒ ☒☒ ☐ ☐☐ ☐☐ ☐ ☐ ☐

5 3 5 3 5 5 1 2 1 2 1 2 3 2 1

①「替 tai³ ㄞ」(音節末調値3)の後半は、オリジナルの「do」のまま変える必要がなかったが、直後の「la」というより低い楽音に向かうため、オリジナルの「do」を「la」に下げている、と考えられる。

1.2

A (5 ~ 7小節目)

②

にたいほど むねにひをつ けてー

②「的 dik¹□」（音節末調値5）の後半は、オリジナルの「re」のまま変える必要がなかったが、直後の「do」というより低い楽音に向かうため、オリジナルの「re」を「do」に下げている、と考えられる。

1.3

A' (1 ~ 4小節目)

③

あまいキスで うまくにげたね う

③「而 yi^4 」(音節末調値1)は、2音後の「留 lau^4 」(同1)や4音後の「來 loi^4 」(同1)の「la」と同じ高さに揃えるように、カバーでは「la」として加えてある。

1.4

A' (5 ~ 8小節目)

④ ⑤

での なかに と じこ めたい の にー ー じれっ

④ ⑤

因 心 中 已 知 無 根 的 一 晩 不 會 解 一 一 悶 潮 流

□ □ □ ▢ □ ▢ □ □ ▢ ▢ ▢ ▢ ▢ ▢ ▢

5 5 5 3 5 1 5 5 5 3 5 3 3 5 2 1 1

④「不 bat¹□」(音節末調値5)の後半は、オリジナルの「re」のまま変える必要がなかったが、直後の「do」というより低い楽音に向かうため、オリジナルの「re」を「do」に下げている、と考えられる。

⑤「解 gāi²」(音節頭末調値35)の前半は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「re」をカバーでは上昇する2楽音「do・re」に変えてある。

1.5

B (2～5小節目)

たい ころろをと かして じれったい からだもと かして もっと																								
興	多	花	款	隨	便	偷	一	歡	潮	流	興	將	不	羈	當	作	新	基	一	本	但	我	厭	
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
5	5	5	5	1	2	53	5	1	1	5	5	5	5	3	3	5	53	5	2	3	3			

⑥「偷 tau¹ □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「mi」をカバーでは下降する2楽音「mi・re」に変えてある。

⑦「基 gei¹ □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「mi」をカバーでは下降する2楽音「mi・re」に変えてある。

⑧「我 ngo⁵ □」(音節末調値3)は、直後の「厭 yim³ □」(同3)の「do」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「si」をカバーでは「do」に上げてある。

1.6

B (6～8小節目)

ー ー も と と し り た い ー ー									
一	倦	在	某	天	已	拒	絕	再	玩
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
2	2	3	5	3	3	2	3	2	

⑨「已 yi⁵ □」(音節末調値3)は、直前の「天 tin¹ □」(同5)の「re」との音程が「長2度」⁴⁾

では狭すぎるので、少し広げて「短3度」⁵⁾ になるように、オリジナルの「do」をカバーでは「si」に下げている、と考えられる。

⑩「拒 kōu⁵ 𠂔」(音節末調値3)・⑪「絶 zhūt⁶ 𠂔」(同2)・⑫「再 zhoi³ 𠂔」(同3)・⑬「玩 wun⁶ 𠂔」(同2)は、音節末調値「3・2・3・2」に合うように、オリジナルの「si・si・do・si」4楽音をカバーでは「do・si・do・la」4楽音に変えてある。

1.7

A'' (1 ~ 4小節目)

⑭

かわいためは やっかいにゆれてる ひ

⑭「新 san¹ 𐄂」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「do」をカバーでは下降する2楽音「do・la」に変えてある。

1.8

A" (5 ~ 7小節目)

⑮	⑯	⑰	⑱
とり ず つじや よ ろ こ べ そ う に な い			
經 喜 歡 拼 盤 如 今 一 很 需 要 真 一 友 一 伴			
☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐			
5 5 5 5 1 1 <u>53</u> 5 5 3 <u>53</u> <u>23</u> 2			

⑮「今 gam¹」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「mi」をカバーでは下降する2楽音「mi・re」に変えてある。

⑯「真 zhan¹」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「re」をカバーでは下降する2楽音「re・do」に変えてある。

⑰「友 yau⁵」(音節頭末調値23)は、「第5声(陽上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「do」をカバーでは上昇する2楽音「si・do」に変えてある。

⑱「伴 bun⁶」(音節末調値2)は、直前の「友 yau⁵」(同3)の「si・do」より低くなるように、オリジナルの2楽音「re・do」をカバーでは「la」に下げてある。

1.9

A''' (1 ~ 4小節目)

⑬

く い ち が い に き ざ ま れ た ま ま で き

⑬「仍 ying⁴」(音節末調値1)は、2音後の「能 nang⁴」(同1)や4音後の「陪 pui⁴」(同1)の「1a」と同じ高さに揃えるように、カバーでは「1a」として加えてある。

1.10

A''' (5 ~ 8小節目)

(20) (21) (22) (23)

ずつくほど あ い し て い る の にー じれっ

(20) (21) (22) (23)

知一假使放寛 明 朝一一醒我心一更苦一一悶 潮流

☐ ☒ ☒ ☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ☐

53 5 5 3 5 1 53 5 5 3 53 3 35 2 1 1

⑳「知 zhi¹」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「mi」をカバーでは下降する2楽音「mi・re」に変えてある。

㊦「朝 zhiu¹ 𠂔」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「mi」をカバーでは下降する2楽音「mi・re」に変えてある。

②②「心 sam¹」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、

オリジナルの1楽音「re」をカバーでは下降する2楽音「re・do」に変えてある。

㊤「苦 fu²𐄂」(音節頭末調値35)の前半は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「re」をカバーでは上昇する2楽音「do・re」に変えてある。

2. 陳慧嫻 1991 「飄雪」 (原由子 1991 「花咲く旅路」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・A'・Bに分ける。

2.1

A (5 ~ 8小節目)

[illegible]

①「分 fan¹」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「re」をカバーでは下降する2楽音「re・do」に変えてある。

②「尚 sōng⁶ 𠂔」(音節末調値2)の後半は、オリジナルの「mi」のまま変える必要がなかったが、直後の「re」というより低い楽音に向かうため、オリジナルの「mi」を「re」に下げている、と考えられる。

③「歳 sōu³ 𪛗」(音節末調値3)の後半は、オリジナルの「sol」のまま変える必要がなかったが、直後の「mi」というより低い楽音に向かうため、オリジナルの「sol」を「mi」に下げている、と考えられる。

④「不 bat¹」(音節末調値5)の後半は、オリジナルの「re」のまま変える必要がなかったが、直後の「do」というより低い楽音に向かうため、オリジナルの「re」を「do」に下げている、と考えられる。

2.2

A' (5 ~ 8小節目)

(5)

なだら— かな この なだら— かな なま え さえ しら ない さか だけど

(5)

冷風催— 我醒 原來 共你是— 場夢 像那 飄飄—雪 淚下弄濕 冷清的— 晚空
□ □ □ □ ▢ □ ▢ □ ▢ □ □ ▢ □ ▢ □ ▢ ▢ □ ▢ ▢ ▢ ▢ □ ▢ □ ▢
3 5 5 3 5 1 1 2 3 2 1 2 2 3 5 53 3 2 2 2 5 3 5 5 3 5

⑤「飄 piu¹ 𪛗」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「la」をカバーでは下降する2楽音「la・sol」に変えてある。

2.3

B

⑥ ⑦

さくむらさきー は たびーじ をいろどーる

⑥ ⑦

原來是那麽一深愛你 此際伴著我追憶的心一痛

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

1 1 2 3 5 53 3 3 5 3 2 2 3 5 5 5 53 3

⑥「麼 mo¹□」(音節末調値5)の後半は、オリジナルの3楽音「re・mi・do」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

⑦「深 sam¹□」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「do」をカバーでは下降する2楽音「re・do」に変えてある。

3. 張學友1992「還是覺得你最好」(米米CLUB 1992「愛してる」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・B・B'・C・Dに分ける。

3.1

A (1 ~ 4小節目)

①

あいして る あ い して る い つ ま で も き み の こ と を

①

即 使 你 離 開 我 熱 情 未 改 這 漫 長 夜 一 裡 誰 人 是 你 所 愛

☐	☒	☒	☒	☐	☒	☒	☒	☒	☐	☐	☒	☒	☒	☐	☒	☒	☒	☒	☐	
5	5	3	1	5	3	2	1	2	5	3	2	1	2	3	1	1	2	3	5	3

①「夜 ye⁶□」（音節末調値2）の後半は、オリジナルの「do」のまま変える必要がなかったが、直後の「fa」というより高い楽音に向かうため、オリジナルの「do」を「fa」に上げてある、と考えられる。

3.2

A (5 ~ 8小節目)

②

よ ン で い る よ ン で い る い つ も き み を む ね の な か で

②「念 nim⁶ □」(音節末調値2)の後半は,オリジナルの「mi」のまま変える必要がなかったが,直後の「fa」というより高い楽音に向かうため,オリジナルの「mi」を「fa」に上げてある,と考えられる。

3.3

B (2～5小節目)

③				④			
ら ぎ の な か と き が す ぎ て く き み							
不 懂 說 將 一 來 但 我 靜 待 你 歸 一 來 在 這							
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □							
5 5 3 53 2 3 2 2 3 53 1 2 3							

③「將 zhōng¹ □」(音節頭末調値53)は,「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように,オリジナルの1楽音「do」をカバーでは下降する2楽音「do・fa」に変えてある。

④「歸 gwai¹ □」(音節頭末調値53)は,「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように,オリジナルの1楽音「re」をカバーでは下降する2楽音「re・fa」に変えてある。

3.4

B (6 ~ 9小節目)

⑤ ⑥

は ごごの ひざし の なか で そ と を み て い る い ま

⑤ ⑥

心 灰 的 冷 冬 共 你 熱 烈 再 相 逢 全 是 我 的 美 一 夢 但 我

□ □ □ ▢ □ □ ▢ □ □ □ □ □ □ ▢ □ □ □ □ □ □

5 5 5 3 5 2 3 2 2 3 5 1 1 2 3 5 3 2 2 3

⑤「的 dik¹□」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「re•si^b」をカバーでは1楽音「re」に変わっている。

⑥「美 mei⁵□」(音節末調値3)は、直後の「夢 mung⁶□」(同2)の「sol」より高くなるように、オリジナルの2楽音「sol・fa」をカバーでは2楽音「si^b・sol」に上げてある。

3.5

C (5 ~ 8小節目)

⑦

⑦「是 si⁶ □」(音節末調値2)は、オリジナルの下降する2楽音「re・si⁶」をカバーでは1楽音「re」に変えてある。

3.6

D

⑧

こ えー に だ し た い い ま す ぐ こ こ で

⑧

我 依 然 而 我 竟 一 然 還 是 覺 得 你 一 最 好

3 5 1 1 3 5 1 1 2 3 5 3 3 5

⑧「依 yi¹□」（音節末調値5）は、オリジナルの下降する2楽音「re・fa」をカバーでは1楽音「re」に変えてある。

4. 古巨基1998「不敢說我愛你」(河村隆一1997「Love is …」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・B・A'・A''に分ける。

B (5 ~ 8小節目)

① ② ③

まないあめに うたーれても きえやしない キミへの メロディ

①「平 ping⁴□」(音節末調値1)は、直前の「痛 tung³□」(同3)の「si^b」より低くなるように、カバーでは「do」¹として加えてある。

②「仍 ying⁴□」(音節末調値1)は、直前の「用 yung⁶□」(同2)の「1a」より低くなるように、カバーでは「do」¹として加えてある。

③「你 nei⁵ ㄣˊ」（音節末調値3）の後半は、オリジナルの「re」のまま変える必要がなかったが、直後の「do[#]」というより低い楽音に向かうため、オリジナルの「re」を「do[#]」に下げていると考えられる。

5. 小雪 2000「JR 幹線」(MISIA 1999「愛しい人」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・A'・B・C・A''・A'''に分ける。

5.1

A (1 ~ 4小節目)

① ② ③

①「走 $\text{zau}^2 \square$ 」(音節末調値5)は、直前の「想 $\text{söng}^2 \square$ 」(同5)の「re」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「do」をカバーでは「re」に上げてある。

②「谷 guk¹□」（音節末調値5）は、オリジナルの下降する2楽音「mi・do」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

③「車 che^1 □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「 mi 」をカバーでは下降する2楽音「 $\text{mi} \cdot \text{do}$ 」に変えてある。

5.2

A (5 ~ 8小節目)

④ ⑤

う なず くー だ けーじやー ー もう い や な の ー ー

④ ⑤

還 有 我 的 半 天 休 一 假 向 更 好 的 出 發

□ ▢ ▢ ▢ ▢ ▢ ▢ ▢ ▢ ▢ ▢ ▢ ▢

1 3 3 5 3 5 53 3 3 3 5 5 5 3

④「的 dik¹□」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「sol・la」をカバーでは1楽音「la」に変わっている。

⑤「天 tin¹□」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「sol・la」をカバーでは1楽音「la」に変わっている。

5.3

A' (1 ~ 4小節目)

⑥ ⑦

ねえ ちゃんとみてほしいーの こどもじゃいら れないー

⑥「手 sau²□」(音節末調値5)は、直前の「山 sãn¹□」(同5)の「re」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「do」をカバーでは「re」に上げてある。

⑦「車 che¹ ㄉㄩˊ」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、

オリジナルの1楽音「mi」をカバーでは下降する2楽音「mi・do」に変えてある。

5.4

A' (5～8小節目)

⑧	⑨	⑩										
と な り で ー ほ ほ ー え ー む い と ー し い ひ と												
⑧	⑨	⑩										
當 你 離 開 我 只 不 一 過 晴 天 一 不 需 雨 傘												
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
5	3	1	5	3	5	5	3	1	53	5	5	3 3

⑧「離 lei⁴ □」(音節末調値1)は、直前の「你 nei⁵ □」(同3)の「do」より低くなるように、オリジナルの「do」をカバーでは「si」に下げている。

⑨「開 hoi¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「sol・la」をカバーでは1楽音「la」に変えている。

⑩「只 zhi² □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「sol・la」をカバーでは1楽音「la」に変えている。

5.5

B (2 ～ 5小節目)

⑪	⑫ ⑬ ⑭
れ も い な く な っ た い えー で ひ と りー 天 説 説 笑 一 話 拿 相 機 一 去 看 透 這 天 下 --- □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 5 3 3 3 2 1 3 5 3 3 3 3 5 2	

⑪「笑 siu³□」(音節末調値3)の後半は,オリジナルの「do」のまま変える必要がなかったが,直後の「si」というより低い楽音に向かうため,オリジナルの「do」を「si」に下げている,と考えられる。

⑫「看 hon³□」(音節末調値3)は,オリジナルの下降する2楽音「sol・mi」をカバーでは1楽音「sol」に変えてある。

⑬「透 tau³□」(音節末調値3)は,直前の「看 hon³□」(同3)や直後の「這 zhe³□」(同3)の「sol」と同じ高さに揃えるように,オリジナルの「mi」をカバーでは「sol」に上げてある。

⑭「天 tin¹□」(音節末調値5)は,オリジナルの上昇する2楽音「sol・la」をカバーでは1楽音「la」に変えてある。

5.6

B (6 ~ 9小節目)

(15) (16)

けしょうーばこ あけてゆめをみてたしょうじょは一あ

(15) (16)

杯裡的熱茶 如桂花將憂鬱都消化 那管真假 如

☐ ☒ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☐ ☒ ☐

5 3 5 2 1 1 3 5 5 5 5 5 5 3 3 5 5 5 1

⑮「的 dik¹□」（音節末調値5）は、オリジナルの下降する2楽音「fa・la」をカバーでは1楽音「fa」に変えてある。

⑩「假 ga^2 □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「re・mi」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

5.7

C (2 ~ 5小節目)

な た という こい い を し い り こー こ に い ー る もう あ

秋 天 中 黄 葉 紛 紛 一 的 跌 一 下 記 念 這 休 一 假 將 你

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

5 5 5 1 2 5 53 5 3 2 3 2 3 53 3 5 3

⑰「**跌** **dit**³ **ㄟ**」(音節末調値3)の後半は、オリジナルの「**sol**」のまま変える必要がなかったが、直後の「**mi**」というより低い楽音に向かうため、オリジナルの「**sol**」を「**mi**」に下げている、と考えられる。

⑱「記 gei³ ㄅ」(音節末調値3)は、オリジナルの上昇する2楽音「fa・sol」をカバーでは1楽音「sol」に変えてある。

⑲「你 nei⁵ ㄌ」(音節末調値3)は、直前の「將 zhōng¹ ㄍ」(同5)の「sol」との音程が「長2度」⁶⁾では狭すぎるので、少し広げて「短3度」⁷⁾になるように、オリジナルの「fa」をカバーでは「mi」に下げてある、と考えられる。

5.8

C (6～9小節目)

□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
2	3	3	5	<u>53</u>	<u>53</u>	1	5	5	5

㉑「今 gam¹ ㄍ」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「mi・re」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

5.9

A'' (1 ~ 4小節目)

ねえ して ほし いの もつ と ひ と み を そ ら さ な い で

想 火 車 裡 我 這 個 不 速 一 客 手 中 車 票 和 心 理 的 感 一 嘆

5 5 5 3 1 5 3 5 5 3

②「車 che¹□」(音節末調値5)は、直前の「火 fo²□」(同5)の「re」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「do」をカバーでは「re」に上げてある。

㊤「這 zhe³ 曰」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する2楽音「mi・do」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

㊸「速 chuk¹ □」(音節末調値5)の後半は、オリジナルの「mi」のまま変える必要がなかったが、直後の「do」というより低い楽音に向かうため、オリジナルの「mi」を「do」に下げている、と考えられる。

5.10

A'' (5 ~ 8小節目)

[illegible]

㉔「展 $zhin^2$ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「sol・la」をカバーでは1楽音「la」に変えてある。

Aメロ

う な ず く ー だ け ー じ ゃ ー ー も う い や な の ー ー ー													
還 有 我 的 半 天 休 一 假 向 更 好 的 出 發													
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
1	3	3	5	3	5	5	3	3	3	5	5	5	3

㉕「好 hou^2 □」(音節末調値5)・㉖「的 dik^1 □」(同5)は、ほぼ同一のメロディーが現われるAメロにおいて、㉕「好 hou^2 □」(同5)・㉖「的 dik^1 □」(同5)が元々「fa・mi」であるオリジナルの楽音を変えていないのを転用して、オリジナルの「sol・la」をカバーでは「fa・mi」に変えてある、と考えられる。

5.11

A''' (1～4小節目)

ね え そ ー ば に い ー て ほ し ー い ひ と り じ ゃ あ る け な い ー ー															
想 東 京 舊 店 子 那 些 冰 一 棒 一 番 街 有 我 喜 愛 的 熱 一 茶															
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
5	5	5	2	3	5	3	5	5	3	3	5	3	5	2	1

㉗「京 $ging^1$ □」(音節末調値5)は、直前の「東 $dung^1$ □」(同5)の「re」と同じ高さに揃え

るように、オリジナルの「do」をカバーでは「re」に上げてある。

㉘「子 zhi² ㄣ」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「mi・do」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

5.12

A''' (5～8小節目)

㉙	㉚	㉛～㉜	㉝	㉞
わ た し を ー な か ー せ ー る い と ー し い ー ひ と ー ー				
㉙	㉚	㉛	㉜	㉝
不 再 留 戀 你 的 姿 一 態 離 開 一 不 必 責 怪				
ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ
5	3	1	5	3
			5	53
			3	1
			53	5
			5	5
			3	3

㉙「留 lau⁴ ㄣ」(音節末調値1)は、直前の「再 zhoi³ ㄣ」(同3)の「do」より低くなるように、オリジナルの「do」をカバーでは「si」に下げている。

㉚「戀 lün² ㄣ」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「sol・la」をカバーでは1楽音「la」に変えている。

㉛「姿 zhi¹ ㄣ」(音節頭末調値53)・㉜「態 tai³ ㄣ」(音節末調値3)は、音節頭末/音節末調値「53・3」に合うように、オリジナルの「re・do」2楽音をカバーでは「mi・re・re」3楽音に変えている。

㉝「必 bit¹ ㄣ」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「re・do」をカバーでは1楽音「re」に変えている。

㉞「怪 gwai³ ㄣ」(音節末調値3)は、直前の「責 zhek³ ㄣ」(同3)の「do」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「re」をカバーでは「do」に下げている。

6. 王喜 2001「仍是這首歌」(ゆず 1999「サヨナラバス」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・B・C・C'・A'・B'・C"に分ける。

6.1

A (1 ~ 4小節目)

①～③ ④

よてい じこくは ろく じ あとわ ずかでぼ くらはべ つべつの みーち

①「事 si⁶□」(音節末調値2)・②「情 ching⁴□」(同1)・③「亦 yik⁶□」(同2)は、音節末調値「2・1・2」に合うように、オリジナルの3楽音「fa・fa・sol」をカバーでは3楽音「mi・do・mi」に変えてある。

④「吸 kap¹」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「sol・fa」をカバーでは1楽音「sol」に変わっている。

6.2

A (5 ~ 8小節目)

(5)~(7)

きみは ぼくのす こし うしろ なみだ ぐんで したを むき ある く やるせ

(5) (6)(7)

天天辛 苦工 作多 太傷 神 為 求盼 望著 未來 老細 也記 得加 薪 仍然為
□
5 5 5 5 5 3 5 3 5 1 2 1 3 2 2 2 1 3 3 3 3 5 5 5 1 1 2

⑤「來 loi⁴ □」(音節末調値1)・⑥「老 lou⁵ □」(同3)・⑦「細 sai³ □」(同3)は、音節末調値「1・3・3」に合うように、オリジナルの3楽音「mi・fa・fa」をカバーでは3楽音「do・mi・mi」に変えてある。

6.3

A (9 ~ 12小節目)

⑧	⑨											⑩⑪
ない おも いだ け で ー い し コ ロ け と ば し て み て も												
⑧	⑨											⑩ ⑪
三餐 奔波 去 上 班 工 作 誰 明 白 當 天 心 中 一 有 理 想 的 我												
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
5	5	5	5	3	2	5	5	3	1	1	2	5
									5	5	<u>5</u>	3
											3	3
											5	5
											3	3

⑧「餐 chān¹ □」(音節末調値5)は、直後の「奔 ban¹ □」(同5)の「la」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「si[˥]」をカバーでは「la」に下げている。

⑨「波 bo¹ □」(音節末調値5)は、直前の「奔 ban¹ □」(同5)の「la」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「sol」をカバーでは「la」に上げてある。

⑩「心 sam¹ □」(音節末調値5)は、2音前の「當 dong¹ □」(同5)や直前の「天 tin¹ □」(同5)の「si[˥]」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「la」をカバーでは「si[˥]」に上げてある。

⑪「中 chung¹ □」(音節末調値5)の前半は、直前の「心 sam¹ □」(同5)の「si[˥]」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「sol」をカバーでは「si[˥]」に上げてある。後半は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように「sol」に下げ、カバーでは下降する2楽音「si[˥]・sol」に変えている。

6.4

B (5～8小節目)

たいせつにおもうほど だいじなことが いえなく なって									
今 晩 chat room 内又 會 是 誰 我 盼望 每夜快樂 遇著事事 亦一吸引									
□	□		□□	□	□	□	□	□□	□
5	3		2	2	3	2	1	3	3
								2	2
								1	2
								2	5
								3	2

⑫「亦 yik⁶□」(音節末調値2)の後半は,オリジナルの「si」のまま変える必要がなかったが,直後の「re」というより高い楽音に向かうため,渡りとなる1楽音として,オリジナルの「si」を「do」に上げてある,と考えられる。

6.5

C (1小節目)

サ ヨ ナ ラ バ									
仍 是 這 首									
□		□	□	□	□	□	□	□	□
1		2	3	5					

⑬「仍 ying⁴□」(音節末調値1)・⑭「是 si⁶□」(同2)・⑮「這 zhe³□」(同3)・⑯「首 sau²□」(同5)は,音節末調値「1・2・3・5」に合うように,オリジナルの4楽音「re・fa・sol・fa」をカバーでは4楽音「do・re・fa・sol」に変えてある。

6.6

C (2 ~ 5小節目)

⑰	⑱⑲	⑳	㉑	㉒
ス は も う す ぐ き み を む か え に き て ぼ く ー				
⑰	⑱ ⑲	⑳	㉑	㉒
歌 將 希 望 帶 給 我 重 新 一 開 始 走 出 我 的 路 只 想				
□	□ □ □	□ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □	□ □
5	5 5 2	3 5 3	1 53 5 5 5 5 3 5 2	5 5

⑰「歌 go¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「sol・la」をカバーでは1楽音「la」に変えてある。

⑱「將 zhōng¹ □」(音節末調値5)・⑲「希 hei¹ □」(同5)は、直前の「歌 go¹ □」(同5)の「la」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「sol」をカバーでは「la」に上げてある。

⑳「我 ngo⁵ □」(音節末調値3)は、2音前の「帶 dai³ □」(同3)の「sol」と同じ高さに揃えるように、カバーでは「sol」として加えてある。

㉑「新 san¹ □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「re」をカバーでは下降する2楽音「re・do」に変えてある。

㉒「想 sǒng² □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「sol・fa」をカバーでは1楽音「sol」に変えてある。

6.7

C (6 ~ 9小節目)

Musical notation for the first line of the song. It consists of a single staff with a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The melody is written in a simple, accessible style. Above the staff, there are three measure numbers: 23, 24, and 13~16. The lyrics are written below the staff: の しる こと の で き な い あ す へ き み を つ れ さ っ て ゆ く さ よ な ら ば.

の しる こと の で き な い あ す へ き み を つ れ さ っ て ゆ く さ よ な ら ば

㊸「也 ya⁵」(音節末調値3)は、直前の「我 ngo⁵」(同3)の「fa」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「re」をカバーでは「fa」に上げてある。

②④「全 chün⁴」(音節末調値1)は、5音前の「三 sām¹」(同5)の「sol」より低くなるように、オリジナルの「sol」をカバーでは「fa」に下げている。

6.8

C' (2 ~ 5小節目)

⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ㉕ ㉖

ス よ ど う か こ な い で く れ な い か や っ ぱー

⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ㉕ ㉖

歌 將 希 望 帶 給 我 誰 都 一 不 想 孤 身 去 等 明 天 我 心 一

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

5 5 5 2 3 5 3 1 53 5 5 5 5 3 5 1 5 3 53

②⑤「都 dou¹ □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「re」をカバーでは下降する2楽音「re・do」に変えてある。

②⑥ 「心 sam¹ ㄣ」(音節頭末調値53)の前半は、直前の「我 ngo⁵ ㄣ」(同3)の「la」より低く

ならないように、オリジナルの「sol」をカバーでは「la」に上げてある。

6.9

C' (6 ~ 8小節目)

(27)	(28~31)									
										
										
中 一 ☐ 53 仍 然 盼 望 ☐ ☐ ☐ ☐ 1 1 3 2 明 天 終 會 找 到 最 愛 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 1 5 5 3 5 3 3 3										

②⑦「中 zhung¹ ☐」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「fa」をカバーでは下降する2楽音「sol・fa」に変えてある。

②⑧「終 zhung¹ ☐」(音節末調値5)・②⑨「會 wui⁵ ☐」(同3)・③⑩「找 zhāu² ☐」(同5)・③⑪「到 dou³ ☐」(同3)は、音節末調値「5・3・5・3」に合うように、オリジナルの3楽音「sol・fa・fa」をカバーでは4楽音「la・sol・la・sol」に変えてある。

6.10

A' (1 ~ 4小節目)

(32~34)										
										
										
波 士 他 ☐ ☐ ☐ ☐ 5 5 5 黑 起 個 樣 ☐ ☐ ☐ ☐ 5 5 3 5 嚇 死 人 ☐ ☐ ☐ ☐ 3 5 1 隨 時 會 ☐ ☐ ☐ ☐ 1 1 3 受 盡 折 磨 ☐ ☐ ☐ ☐ 2 2 3 1 每 秒 也 覺 ☐ ☐ ☐ ☐ 3 3 3 3 得 心 驚 膽 震 ☐ ☐ ☐ ☐ 5 5 5 5 3										

②「毎 mu⁵□」（音節末調値3）は、直前の「磨 mo⁴□」（同1）の「do」との音程が「完全4度」⁸⁾では広すぎるので、少し狭めて「長3度」⁹⁾になるように、オリジナルの「fa」をカバーでは「mi」に下げている、と考えられる。

③②「毎 $\text{mi}^5 \square$ 」(音節末調値3)・③③「秒 $\text{miu}^5 \square$ 」(同3)・③④「也 $\text{ya}^5 \square$ 」(同3)は、音節末調値「3・3・3」に合うように、オリジナルの3楽音「fa・fa・sol」をカバーでは3楽音「mi・mi・fa」に変えてある。

6.11

A' (5 ~ 8小節目)

(35)~(37)

バスに のりこん でゆ く うしろ すがたをそっと み つめてた お つり

(35) (36)(37)

即刻想 收工去 wet 到 清 晨 祈求會 遇著 能 對我最愛 的知 心 為何在
□ □ ▣ □
5 5 5 5 5 3 3 5 1 1 1 3 2 2 1 3 3 3 3 5 5 5 2 1 2

③⑤「能 nang⁴ ㄣˊ」（音節末調値1）・③⑥「對 döü³ ㄉㄟˋ」（同3）・③⑦「我 ngo⁵ ㄍㄜˇ」（同3）は、音節末調値「1・3・3」に合うように、オリジナルの3楽音「mi・fa・fa」をカバーでは3楽音「do・mi・mi」に変えてある。

6.12

B' (1 ~ 4小節目)

どうしてなん だ ろう き づく の が お そ す ぎ て ー

㊥「一 yat¹」(音節末調値5)は、2音後の「再 zhoi³」(同3)の「sol」より高くなるように、オリジナルの「sol」をカバーでは「la」に上げてある。

③⑨「起 he²ㄣ」(音節末調値5)は、直後の「再 zhoi³ㄣ」(同3)の「sol」より高くなるように、オリジナルの「sol」をカバーでは「la」に上げてある。

④⑩「送 sung³ㄉㄨㄥˋ」(音節末調値3)は、2音前の「再 zhoi³ㄗㄞˋ」(同3)や直前の「會 wui⁵ㄨㄟˋ」(同3)の「sol」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「la」をカバーでは「sol」に下げている。

④「給 kap¹」(音節末調値5)は、直前の「送 sung³」(同3)の「sol」より高くなるように、オリジナルの「sol」をカバーでは「la」に上げてある。

④ 「一 yat¹」(音節末調値5)は、直後の「吻 man⁵」(同3)の「fa」より高くなるように、カバーでは「sol」として加えてある。

④ 「共 gung⁶ 𠂔」(音節末調値2)の後半は、オリジナルの「si」のまま変える必要がなかったが、直後の「re」というより高い楽音に向かうため、渡りとなる1楽音として、オリジナルの「si」を「do」に上げてある、と考えられる。

C'' (2 ~ 5小節目)

④「的 dik¹□」(音節末調値5)は、2音前の「將 zhōng¹□」(同5)の「sol」と同じ高さに揃えるように、カバーでは「sol」として加えてある。

④⑤「歌 go¹ □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「re」をカバーでは下降する2楽音「re・do」に変えてある。

④「中 *zhung*¹ □」(音節末調値5)は、直前の「聲 *sing*¹ □」(同5)の「do」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「la」をカバーでは「do」に上げてある。

C × □

(47') ~ (49')

スは もうすぐ きみをむかえにきて ぼくー

(47') ~ (49')

歌 將希望帶給我重新一開始走出我的路 只想
☐ ☐ ☐☒ ☐ ☐ ☒ ☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒

5 5 5 2 3 5 3 1 53 5 5 5 5 3 5 2 5 5

④⑦「這 zhe³ □」(音節末調値3)・④⑧「首 sau² □」(同5)・④⑨「歌 go¹ □」(同5)は、ほぼ同一のメロディーが現われるCメロにおいて、④⑦「只 zhi² □」(同5)～④⑨「想 söng² □」(同5)がオリジナルの「la・sol・fa」を「la・sol」に変えてあるのを転用して、オリジナルの「sol・la」をカバーでは「la・sol・sol」に変えてある、と考えられる。

7. 梁浩賢 2001「樂園」(平井堅 2000「樂園」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・A'・B・B'・C・C'・A''・A'''・B''・D・C''に分ける。

7.1

A' (3 ~ 4小節目)

①

ら は ど こ へ ゆ く の か ー ー Do U

①「公 gung¹□」（音節末調値5）は、オリジナルの下降する2楽音「fa[#]・mi」をカバーでは1楽音「fa[#]」に変えてある。

7.2

C (2 ~ 3小節目)

② ③

down あ の ら く え ん は ー もう き え た け ど ー

② ③

玩 就 算 玩 得 更 精 彩 ー 仍 玩 不 起 這 戀
☐ ☐☐☒ ☐☐ ☐☒ ☐☒ ☐☒ ☐☒ ☐☒

5 2 3 5 5 3 5 5 1 5 5 5 3 5

②「仍 ying⁴」(音節末調値1)は、直後の「玩 wan²」(同5)の「fa[#]」との音程が「完全8度」¹⁰⁾では広すぎるので、少し狭めて「長6度」¹¹⁾になるように、オリジナルの「fa[#]」をカバーでは「la」に上げてある、と考えられる。

③「戀 lün² 𠂔」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「fa[#]・mi」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

7.3

C (4 ~ 5小節目)

[illegible]

④「寵 chung²ㄉㄨㄥˋ」(音節末調値5)の後半は、オリジナルの下降する2楽音「sol・fa[#]」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

7.4

C' (2 ~ 3小節目)

⑤ ⑥ ⑦ ⑧

I さいごの ひには 一 きみと こん なふうー

⑤ ⑥ ⑦ ⑧

玩 即 使 你 更 可 一 愛 仍 放 不 低 一 這 感

☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒ ☐ ☐ ☒ ☐ ☒

5 5 5 3 3 5 3 1 3 5 53 3 5

⑤「可 ho² 𠄎」(音節末調値5)の後半は、オリジナルの「fa[#]」のまま変える必要がなかったが、直後の「mi」というより低い楽音に向かうため、オリジナルの「fa[#]」を「mi」に下げていると考えられる。

Cメロ

down あ の ら く え ん は ー も う き え た け ど ー														
玩 就 算 玩 得 更 精 彩 ー 仍 玩 不 起 這 戀														
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ー ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐														
5 2 3 5 5 3 5 5 1 5 5 5 3 5														

⑥「仍 ying⁴ ☐」(音節末調値1)は、ほぼ同一のメロディーが現われるCメロにおいて、⑥'「仍 ying⁴ ☐」(同1)がオリジナルの「fa[#]」を「la」に上げてあるのを転用して、オリジナルの「fa[#]」をカバーでは「la」に上げてある、と考えられる。

⑦「低 dai¹ ☐」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「fa[#]」をカバーでは下降する2楽音「fa[#]・mi」に変えてある。

⑧「感 gam² ☐」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「fa[#]・mi」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

7.5

A''' (3～4小節目)

け な い ひ び が で き た ね ー U Can														
墜 地 受 傷 彷 彿 ー 個 小 丑 ー 伴 你														
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ー ☐ ☐ ☐ ☐ ☐														
2 2 2 5 5 5 5 3 5 35 2 3														

⑨「個 go³ ☐」(音節末調値3)は、オリジナルの上昇する2楽音「re・fa[#]」をカバーでは1楽

音「re」に変えてある。

⑩「丑 chau² □」(音節頭末調値35)は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「mi」をカバーでは上昇する2楽音「re・mi」に変えてある。

7.6

D (5～6小節目)

心	ー	血	造	你	的	樂	園	ー	知
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
53		3	2	3	5	2	1		5
									3
									2
									1
									3

⑪「園 yün⁴ □」(音節末調値1)は、オリジナルの下降する2楽音「mi・re」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

⑫「逗 dau⁶ □」(音節末調値2)の後半は、オリジナルの「re」のまま変える必要がなかったが、直後の「fa[#]」というより低い楽音に向かうため、オリジナルの「re」を「fa[#]」に下げている、と考えられる。

7.7

C" (2～3小節目)

I	ゆ	び	を	か	ら	め	ー	あ	い	を	な	に	か	を
玩	即	使	你	更	可	一	愛	自	己	都	想	精	彩	
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
5	5	5	3	3	5	3		2	5	5	5	5	5	5

⑬「更 gang³ □」(音節末調値3)は、直後の「可 ho² □」(同5)の「fa[#]」より低くなるように、オリジナルの「fa[#]」を「mi」に下げてある、と考えられる。

Cメロ

down	あ	の	ら	く	え	ん	は	ー	も	う	き	え	た	け	ど	ー
玩	就	算	玩	得	更	精	彩	ー	仍	玩	不	起	這	戀		
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
5	2	3	5	5	3	5	5		1	5	5	5	3	5		

⑭「自 zhi⁶ □」(音節末調値2)は、ほぼ同一のメロディーが現われるCメロにおいて、⑭'「仍 ying⁴ □」(同1)がオリジナルの「fa[#]」を「la」に上げてあるのを転用して、オリジナルの「fa[#]・fa[#]」をカバーでは「la」に上げてある、と考えられる。

8. 高晨維 2001「起飛」(平井堅 2000「Why」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・A'・B・B'・B''・C・D・D'に分ける。

8.1

A (1～4小節目)

あいをかたりはだをかさねることかーーら
這裡那裡 那裡這裡 要碰到你 偏偏找不 到 □ □□ □ □ □□ □ □ □□ □ □ □ □ □ □ 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 5 5 5 5 3

①「不 bat¹□」(音節末調値5)の前半は、直前の「找 zhāu²□」(同5)の「do」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「si¹」をカバーでは「do」に上げてある。

8.2

A' (1～4小節目)

なみだかわかすキスのおんどだけがーーー
這個那個 每個某個 線索線報 偏偏找不 到 □ □□ □ □ □□ □ □ □□ □ □ □ □ □ □ 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 5 5 5 5 3

②「不 bat¹□」(音節末調値5)の前半は、直前の「找 zhāu²□」(同5)の「do」と同じ高さに

揃えるように、オリジナルの「si^b」をカバーでは「do」に上げてある。

9. 王喜2002「小怪物」(ゆず2000「嗚呼、青春の日々」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・A'・B・C・A''・A'''・B'・C'に分ける。

9.1

A (2 ~ 5小節目)

[illegible]

①「一 yat¹」(音節末調値5)の後半は、オリジナルの「mi」のまま変える必要がなかったが、直後の「re」というより低い楽音に向かうため、オリジナルの「mi」を「re」に下げている、と考えられる。

②「小 siu^2 𐄂」(音節頭末調値35)は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「 mi 」をカバーでは上昇する2楽音「 $\text{re} \cdot \text{mi}$ 」に変えてある。

9.2

A (6 ~ 9小節目)

[illegible]

③「真 zhan¹ 𠄎」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「mi」をカバーでは下降する2楽音「mi・re」に変えてある。

④「手 sau² 𠂔」(音節頭末調値35)は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「mi」をカバーでは上昇する2楽音「re・mi」に変えてある。

⑤「踏 $\text{d}\bar{\text{a}}\text{p}^6 \square$ 」(音節末調値2)は、直後の「實 $\text{sat}^6 \square$ 」(同2)の「si」と同じ高さに揃えるように、カバーでは「si」として加えてある。

A"メロ



 つよきだったあいつがガ ラにもなく おれなんかのまゑで ないてた よ そっ

⑥「土 tou² □」(音節末調値5)・⑦「風 fung¹ □」(同5)・⑧「裡 löu⁵ □」(同3)・⑨「小 siu² □」(同5)・⑩「花 fa¹ □」(同5)・⑪「可 ho² □」(同5)・⑫「見 gin³ □」(同3)は、ほぼ

同一のメロディーが現われるA”メロにおいて、⑥’～⑫’「光 gwong¹□」(同5)・「給 kap¹□」(同5)・「我 ngo⁵□」(同3)・「歸 gwai¹□」(同5)・「家 ga¹□」(同5)・「的 dik¹□」(同5)・「勇 yung⁵□」(同3)が元々「si・la・sol・la・si・la・sol」であるオリジナルの楽音を変えていないのを転用して、オリジナルの「do・la・la・sol・fa[#]」をカバーでは「si・la・sol・la・si・si・la・sol」に変えてある、と考えられる。

9.3

A' (2 ~ 5小節目)

しよに なって ば かやったアイツが ちち おや のあ とを つい で いち

⑬「天 tin¹ 𠂔」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「mi」をカバーでは下降する2楽音「mi・re」に変わっている。

⑭「小 $\text{siu}^2 \square$ 」(音節頭末調値35)は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「 mi 」をカバーでは上昇する2楽音「 $\text{re} \cdot \text{mi}$ 」に変えてある。

⑮「不 bat¹」(音節末調値5)の後半は、オリジナルの「la」のまま変える必要がなかったが、直後の「sol」というより低い楽音に向かうため、オリジナルの「la」を「sol」に下げていると考えられる。

9.4

A' (6 ~ 9小節目)

⑬	⑭	⑮	⑯	⑰~⑳
にん ま え に しゃ ち ょ う さ ー ん に な る ん だ っ て さ				
⑬	⑭	⑮	⑯	⑰ ⑱ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖
罵 這 小 一 怪 物 為 何 要 辨 別 那 黑 一 與 白 木 造 的 心 怎 會 懂 得 這 需 要				
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				
2 3 35 3 2 2 1 3 2 2 3 5 3 2 2 2 5 5 5 3 5 5 3 5 3				

⑬「小 siu² □」(音節頭末調値35)は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「mi」をカバーでは上昇する2楽音「re・mi」に変えてある。

⑭「要 yiu³ □」(音節末調値3)は、3音後の「那 na⁵ □」(同3)の「re」と同じ高さに揃えるように、カバーでは「re」として加えてある。

⑮「黑 hak¹ □」(音節末調値5)の後半は、オリジナルの「mi」のまま変える必要がなかったが、直後の「re」というより低い楽音に向かうため、オリジナルの「mi」を「re」に下げてある、と考えられる。

⑯「木 muk⁶ □」(音節末調値2)は、直後の「造 zhou⁶ □」(同2)の「si」と同じ高さに揃えるように、カバーでは「si」として加えてある。

A" メロ

⑳'	㉑'	㉒'	㉓'	㉔'	㉕'	㉖'
つ よ き だ っ た あ い つ が ガ ラ に も な く お れ な ん か の ま え で な い て た よ そ っ						
念 掛 那 天 一 上 路 日 落 前 淚 眼 看 出 生 故 地 暮 夜 星 光 給 我 歸 家 的 勇 氣 大 門						
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □						
2 3 3 53 2 2 2 2 1 2 3 3 5 5 3 2 2 2 5 5 5 3 5 5 5 3 3 2 1						

⑳「心 sam¹ □」(音節末調値5)・㉑「怎 zham² □」(同5)・㉒「會 wui⁵ □」(同3)・㉓「懂 dung² □」(同5)・㉔「得 dak¹ □」(同5)・㉕「這 zhe³ □」(同3)・㉖「需 söü¹ □」(同5)は、ほぼ同一のメロディーが現われるA”メロにおいて、㉑～㉖「光 gwong¹ □」(同5)・「給 kap¹ □」(同5)・「我 ngo⁵ □」(同3)・「歸 gwai¹ □」(同5)・「家 ga¹ □」(同5)・「的 dik¹ □」(同5)・「勇 yung⁵ □」(同3)が元々「si・la・sol・la・si・la・sol」であるオリジナルの楽音を変えていないのを転用して、オリジナルの「do・la・la・sol・sol」をカバーでは「si・la・sol・la・si・la・la」に変えてある、と考えられる。

9.5

B (1～4小節目)

それ ぞれのおもい を むね に たがいの みち を ー たしか									
看看 世界這 恐怖 嚇 人的 公 理 不需真 心 也不必 講一 理 可以									
□□ □□□ □□ □ □□ □□ □ □□ □ □□ □ □□ □□ □□									
3 3 3 3 3 5 3 3 1 5 5 3 5 5 5 5 3 5 5 <u>35</u> 3 5 3									

㉑「公 gung¹ □」(音節末調値5)は、直前の「的 dik¹ □」(同5)の「la」と同じ高さに揃えるように、カバーでは「la」として加えてある。

㉒「也 ya⁵ □」(音節末調値3)は、直後の「不 bat¹ □」(同5)の「si」より低くなるように、カバーでは「la」として加えてある。

㉓「講 gong² □」(音節頭末調値35)は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「la」をカバーでは上昇する2楽音「sol・la」に変えてある。

9.6

A'' (6 ~ 9小節目)

(30)

つよきだったあいつがガ ラにもなく おれなんかのまえて ないてた よ そっ

③⑩「天 tin¹ 𠂔」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「mi」をカバーでは下降する2楽音「mi・re」に変わっている。

9.7

A''' (2 ~ 5小節目)

ちのせかいはいった いどんなんだーい おれ もそのうちゆくけど さー ー さんと

後 有 些 一 驚 動 又 是 平 日 那 些 一 叫 號 但 願 爸 媽 不 一 要 打 交 聽 我 講 是 誰

2 3 53 5 2 2 2 1 2 3 53 3 2 2 2 5 5 5 3 5 5 5 3 5 2 1

㊦「些 se¹ 𠂔」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「mi」をカバーでは下降する2楽音「mi・re」に変えてある。

③②「些 se¹ □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「mi」をカバーでは下降する2楽音「mi・re」に変えてある。

B' (5 ~ 7小節目)

— 48 —

オリジナルの1楽音「fa[#]」をカバーでは下降する2楽音「fa[#]・mi」に変えてある。

9.10

C'' (2 ~ 5小節目)

一 ああー なつか しき まちよ ああー ああー すばら しき ともよ ああ
ha a u ha 別問 我會 怎麼 了 a u ha a u ha 就是 懶 理 怎麼 了 a u
□□ □□ □□ □ 2 2 3 3 5 5 3 □□ □ □ □□ □ 2 2 3 3 5 5 3

C' メロ

一 ああー せいしゅんの ひび よ ああー ああー せいしゅんの ひび よ ああ
ha a u ha 絕未 妥 協 怎麼 了 a u ha a u ha 並沒 抱 歉 怎麼 了 a u
□□ □ □ □□ □ 2 2 3 3 5 5 3 □□ □ □ □□ □ 2 2 3 3 5 5 3

③⑨「會 wui⁵ □」(音節末調値3)・④⑩「怎 zham² □」(同5)・④⑪「麼 mo¹ □」(同5)は、ほぼ同一のメロディーが現われるC' メロにおいて、③⑨'「協 hip³ □」(同3)・「怎 zham² □」(同5)・「麼 mo¹ □」(同5)が元々「do・si・la」であるオリジナルの楽音を変えていないのを転用して、オリジナルの「si・la・sol」をカバーでは「do・si・la」に変えてある、と考えられる。

④②「理 lei⁵ □」(音節末調値3)・④③「怎 zham² □」(同5)・④④「麼 mo¹ □」(同5)は、ほぼ同一のメロディーが現われるC' メロにおいて、④②'「歉 hip³ □」(同3)・「怎 zham² □」(同5)・「麼 mo¹ □」(同5)が元々「do・si・la」であるオリジナルの楽音を変えていないのを転用して、

オリジナルの「si・la・sol」をカバーでは「do・si・la」に変えてある、と考えられる。

9.11

C''' (2 ~ 5小節目)

(45)~(47)

一 あ あー う つ く し き い の ち よ あ あ 一 あ あー せいしゅんの

(45) (46)(47)

ha a u ha 願 做 怪 獸 怎 麼 了 a u ha a u ha 日 日 叫 喊
□ □ □ □ ▣ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
2 2 3 2 5 5 3 2 2 3 3

$C' \not\models \square$

(45)'~(47)'

一 ああー せいしゅんの ひび よ ああー 一 ああー せいしゅんの ひび よ ああ

④5「獸 sau⁶□」(音節末調値2)・④6「怎 zham²□」(同5)・④7「麼 mo¹□」(同5)は、ほぼ同一のメロディーが現われるC'メロにおいて、④5'～④7'「協 hip³□」(同3)・「怎 zham²□」(同5)・「麼 mo¹□」(同5)が元々「do・si・la」であるオリジナルの楽音を変えていないのを転用して、オリジナルの「si・si・la・sol」をカバーでは「do・si・la」に変えてある、と考えられる。

10. 王喜 2002 「Again」 (ゆず 2002 「アゲイン 2」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲を A・B・A'・B'・C・D・C'・D'・E・D' に分ける。

10.1

A (1～4小節目)

①	
①	
心 中 早 開 出 □ □ □ □ □ 5 5 5 5 5	一 朵 百 合 花 □ □ □ □ □ 5 5 3 2 5

①「合 hop⁶ □」(音節末調値2)は、直前の「百 bak³ □」(同3)の「sol」より低くなるように、オリジナルの「sol」をカバーでは「fa[#]」に下げている。

10.2

A (5～8小節目)

②	
②	
天 天 風 吹 打 □ □ □ □ □ 5 5 5 5 5	我 勇 敢 一 □ □ □ □ 3 3 35
③	
③	
用 雙 手 去 護 花 □ □ □ □ □ 2 5 5 3 2 5	

②「敢 gam² □」(音節頭末調値35)は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オ

リジナルの1楽音「si」をカバーでは上昇する2楽音「la・si」に変えてある。

③「護 wu^6 □」(音節末調値2)は、直前の「去 $höü^3$ □」(同3)の「sol」より低くなるように、オリジナルの「sol」をカバーでは「fa[#]」に下げている。

10.3

B (1 ~ 4小節目)

④ ⑤

ためらうかぜがふき とまどうあめがふり いくどとなく ふみ つぶされても

④「到 dou³ ㄉㄠˋ」(音節末調値3)の前半は、直前の「大 dāi⁶ ㄉㄞˊ」(同2)の「do[#]」より高くなるように、オリジナルの「do[#]」をカバーでは「re」に上げてある。

後半は、オリジナルの「re」のまま変える必要がなかったが、直後の「do[#]」というより低い楽音に向かうため、オリジナルの「re」を「do[#]」に下げている、と考えられる。

⑤「變 bin³ ㄅㄧㄣˊ」(音節末調値3)は、直前の「到 dou³ ㄉㄡˊ」(同3)の「do[#]」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「re」をカバーでは「do[#]」に下げている。

10.4

B (5 ~ 8小節目)

[illegible]

⑥「懂 dung^2 」(音節末調値5)の後半は、直後の「消 siu^1 」(同5)の「si」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「1a」をカバーでは「si」に上げてある。

10.5

A' (1 ~ 4小節目)

⑦ ⑧

それでも ささいな ねがいも 一 と どかずに

⑦「僅 gan² 𠂔」(音節頭末調値35)は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「si」をカバーでは上昇する2楽音「la・si」に変えてある。

⑧「弱 yök⁶□」(音節末調値2)は、直前の「算 sün³□」(同3)の「sol」より低くなるように、オリジナルの「sol」をカバーでは「fa[#]」に下げている。

10.6

B' (1 ~ 4小節目)

そんなときは ここにおいで そして おおごえで ないてし まえばいい				
你聽 見我 嗎 □□ □□ □ 3 5 3 3 3	我說 那有 怕 □□ □□ □ 3 3 3 3 3	夜幕墜 下 □□□ □ 2 2 2 2	讓我 一 接吧 □□ □□ 2 3 3 2	

⑨「我 ngo⁵ □」(音節末調値3)の前半は、直前の「讓 yǒng⁶ □」(同2)の「do[#]」より高くなるように、オリジナルの「do[#]」をカバーでは「re」に上げてある。

後半は、オリジナルの「re」のまま変える必要がなかったが、直後の「do[#]」というより低い楽音に向かうため、オリジナルの「re」を「do[#]」に下げてある、と考えられる。

10.7

B' (5 ~ 8小節目)

ときはながれ あのひのかなしめでさえっぽけだったと おもえるあさがくる アゲイン				
你聽 見我嗎 □□ □□ □ 3 5 3 3 3	大地 也會 退化 □□ □□ □□ 2 2 3 3 3 3	頭 上若有 煙 花 便 盡 興 吧 □ □□□□ □ □ □ □ □ 1 2 2 2 3 5 5 2 2 5 2	A gain	

⑩「煙 yin¹ □」(音節末調値5)は、直前の「有 yau⁵ □」(同3)の「do[#]」より低くならないように、且つ、直後の「花 fa¹ □」(同5)と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「si」をカバーでは「do[#]」に上げてある。

10.8

C (2 ~ 5小節目)

⑪

だれもがみんな ひとり ぼっちを だき しめ ながら い きているー アゲイン

⑪

兩腳染滿 爛泥 仍 笑 著答 問題 裂 開的 玻璃 杯 仍 獨自美麗 A gain

□□□□ □□ □ □□□ □□ □ □□ □□ □ □□□□

3 3 3 3 2 1 1 3 2 3 2 1 2 5 5 5 5 5 1 2 2 3 2

⑪「璃 lei¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの「si」のまま変える必要がなかったが、オリジナルの「si」をカバーでは「la」に下げている。この例は、目下のところ、理由不明である。

10.9

C (6 ~ 9小節目)

⑫ ⑬

どろだらけの くつだって なんとでも あるき だせる さー

⑫ ⑬

螞蟻也 認為 憑 勇一 氣 可 擋一 雨 勢太 蠢 仍 沒作 弊

□□□□ □□ □ □ □□ □□ □ □□ □□ □ □□ □

3 3 3 2 1 1 23 3 5 35 3 3 3 5 1 2 3 2

⑫「勇 yung⁵ □」(音節頭末調値23)は、「第5声(陽上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「re」をカバーでは上昇する2楽音「do[#]・re」に変えてある。

⑬「擋 dong² □」(音節頭末調値35)は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「do[#]」をカバーでは上昇する2楽音「si・do[#]」に変えてある。

⑮「會 wui⁵□」(音節末調値3)は、直前の「不 bat¹□」(同5)の「mi」より低く、且つ、直後の「白 bak⁶□」(同2)の「do[#]」より高くなるように、オリジナルの2楽音「mi・re」をカバーでは1楽音「re」に変えてある。

E (9 ~ 12小節目)

⑩「我 ngo⁵ㄣ」(音節末調値3)は、直後の「不 bat¹ㄣ」(同5)の「si」より低くなるように、

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (10)

オリジナルの「si」をカバーでは「la」に下げている。

10.12

C” (1 ~ 4小節目)

あらたな たび だちへ アゲイン

由 東 至 西 尋 求 空 位 ー A ga

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

1 5 3 5 1 1 5 35

⑬「由 yau⁴□」(音節末調値1)・⑭「東 dung¹□」(同5)は、ほぼ同一のメロディーが現われるC”メロ2～3小節目において、⑬'～⑭'「求 kau⁴□」(同1)・「空 hung¹□」(同5)が元々「si・fa[#]」であるオリジナルの楽音を変えていないのを転用して、オリジナルの「la・mi」をカバーでは「si・fa[#]」に変えてある、と考えられる。

11. 結語

11.1

今回調査した1987年～2002年のJ-POP広東語カバー曲10曲は、全てオリジナル曲の楽音の高さを変えてある。

尚、各曲の略称は表3の通り。

表3

1	拒絶再玩	1「拒」	2	飄雪	2「飄」
3	還是覺得你最好	3「還」	4	不敢說我愛你	4「不」
5	JR幹線	5「J」	6	仍是這首歌	6「仍」
7	樂園	7「樂」	8	起飛	8「起」
9	小怪物	9「小」	10	Again	10「A」

1. 当該音節の声調と関係が有る。【計141音節】

- 1.1 【その1音節】 その1音節の高さを変える。【39音節】(1「拒」⑧・⑬, 3「還」⑥, 5「J」①・⑥・⑧・⑬・⑲・⑲・⑳・㉓, 6「仍」⑧・⑨・⑩・⑪前・⑬・⑲・㉓・㉔・㉖・㉘・㉙・④⑩・④①・④⑥, 7「樂」⑬, 8「起」①・②, 10「A」①・③・④前・⑤・⑥・⑧・⑨前・⑩・⑬・⑮・⑮)
- 1.2 【数音節】 数音節をまとめて高さを変える。【20音節】(6「仍」①・②・③・⑤・⑥・⑦・⑬・⑬・⑮・⑮・㉔・㉔・㉖・㉖・㉘・㉘・㉙・㉙・㉚・㉚・㉜・㉜・㉞・㉞・㉟・㉟・㊱・㊱・㊲・㊲・㊴・㊴・㊶・㊶・㊸・㊸・㊺・㊺・㊼・㊼・㊾・㊾・㊿・㊿)
- 1.3 【別部分(有)】 同じ曲の別の部分を転用する。【16音節】(9「小」⑥・⑦・⑧・⑨・⑩・⑪・⑫・㉔・㉔・㉖・㉖・㉘・㉘・㉙・㉙・㉚・㉚・㉜・㉜・㉞・㉞・㉟・㉟・㊱・㊱・㊲・㊲・㊴・㊴・㊶・㊶・㊸・㊸・㊺・㊺・㊼・㊼・㊾・㊾・㊿・㊿)
- 1.4 【リズム】 数音節をまとめて、高さだけでなくリズムも変える。【9音節】(1「拒」⑩・⑪・⑫・⑬, 5「J」③①・③②, 9「小」③⑤・③⑥・③⑦)
- 1.5 【陰平53】「第1声(陰平)」の高降調の方の調値「53」に合うように、下降する2楽音に変える。【28音節】(1「拒」⑥・⑦・⑬・⑮・⑮・㉔・㉔・㉖・㉖・㉘・㉘・㉙・㉙・㉚・㉚・㉜・㉜・㉞・㉞・㉟・㉟・㊱・㊱・㊲・㊲・㊴・㊴・㊶・㊶・㊸・㊸・㊺・㊺・㊼・㊼・㊾・㊾・㊿・㊿)
- 1.6 【陰上35】「第2声(陰上)」の上昇調の調値「35」に合うように、上昇する2楽音に変える。【11音節】(1「拒」⑤・㉓, 7「樂」⑩, 9「小」②・④・⑬・⑮・㉔, 10「A」②・⑦・⑬)
- 1.7 【陽上23】「第5声(陽上)」の上昇調の調値「23」に合うように、上昇する2楽音に変える。【2音節】(1「拒」⑮, 10「A」⑮)
- 1.8 【音程】 直前／直後の音節との音程が広すぎる／狭すぎるので、適切な音程に調整してある、と考えられる。【4音節】(1「拒」⑨, 5「J」⑮, 6「仍」㉚, 7「樂」②)
- 1.9 【加える】 オリジナルには無い楽音を加える。【12音節】(1「拒」③・㉔, 4「不」①・②, 6「仍」㉔・㉚・㉚, 9「小」⑤・⑮・⑮・㉔・㉔・㉖・㉖・㉘・㉘・㉙・㉙・㉚・㉚・㉜・㉜・㉞・㉞・㉟・㉟・㊱・㊱・㊲・㊲・㊴・㊴・㊶・㊶・㊸・㊸・㊺・㊺・㊼・㊼・㊾・㊾・㊿・㊿)

2. 当該音節の声調と関係が無い。【計68音節】

- 2.1 【一楽音に】 上昇／下降する2(～3)楽音を1楽音に変える。【30音節】(2「飄」⑥, 3「還」⑤・⑦・⑧, 5「J」②・④・⑤・⑨・⑩・⑫・⑬・⑮・⑮・㉔・㉔・㉖・㉖・㉘・㉘・㉙・㉙・㉚・㉚・㉜・㉜・㉞・㉞・㉟・㉟・㊱・㊱・㊲・㊲・㊴・㊴・㊶・㊶・㊸・㊸・㊺・㊺・㊼・㊼・㊾・㊾・㊿・㊿)
- 2.2 【向かう】 直後の、より高い／低い楽音に向かうため、オリジナルの1楽音または同一の高さの2楽音を、カバーでは上昇／下降する2(～3)楽音に、或いは、直前の楽音から直後の楽音への渡りとなる1楽音に、それぞれ変えてある、と考えられる。【21音節】(1「拒」①・②・④, 2「飄」②・③・④, 3「還」①・②, 4「不」③, 5「J」⑪・⑮・㉓, 6「仍」⑫・㉓, 7「樂」⑤・⑮, 9「小」①・⑮・⑮, 10「A」④後・⑨後)
- 2.3 【消失音】 オリジナルにおける直前／直後の楽音を変えた結果、オリジナルのメロディラインから消失した楽音を補うために、二次的に、オリジナルにおける直前／直後の楽音に変えてある、と考えられる。【0音節】

- 2.4 **【音程保つ】** オリジナルにおける直前／直後の楽音を変えた結果，オリジナルにおけるその楽音との音程を保つために，二次的に変えてある，と考えられる。**【0音節】**
- 2.5 **【別部分（無）】** 同じ曲の別の部分を転用する。**【16音節】** (5「J」②⑤・②⑥, 6「仍」④⑦・④⑧・④⑨, 7「樂」⑥・①④, 9「小」③⑨・④⑩・④⑪・④⑫・④⑬・④⑭・④⑮・④⑯・④⑰)
- 2.6 **【前後】** 前／後の楽音の高さに揃える。**【0音節】**
- 2.7 **【声域】** 歌手の声域に合わせる。**【0音節】**
- 2.8 **【不明】** 目下のところ，理由不明。**【1音節】** (10「A」⑪)

各曲に現われるタイプ別の音節数をまとめると，表4の如くである（割合は小数点以下第2位を四捨五入）。

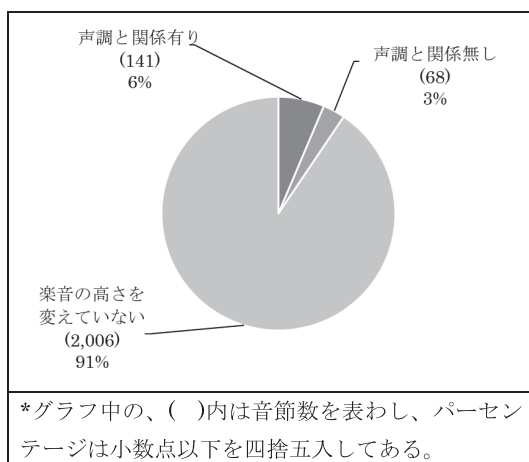
表4

		1 拒	2 飄	3 還	4 不	5 J	6 仍	7 樂	8 起	9 小	10 A	合計	
	音節数	149	115	162	146	197	333	291	234	321	267	2,215	類内割合(%)
1. 声調と関係有り	1.1 その1音節	2		1		8	14	1	2		11	39	27.7
	1.2 数音節						20					20	14.2
	1.3 別部分(有)									14	2	16	11.3
	1.4 リズム	4				2				3		9	6.4
	1.5 陰平53	8	3	2		2	5	1		7		28	19.9
	1.6 陰上35	2						1		5	3	11	7.8
	1.7 陽上23	1									1	2	1.4
	1.8 音程	1				1	1	1				4	2.8
	1.9 加える	2			2		3			5		12	8.5
	小計	20	3	3	2	13	43	4	2	34	17	141	
	割合(%)	13.4	2.6	1.9	1.4	6.6	12.9	1.4	0.9	10.6	6.4	6.4	
2. 声調と関係無し	2.1 一楽音に		1	3		16	3	6		1		30	44.1
	2.2 向かう	3	3	2	1	3	2	2		3	2	21	30.9
	2.3 消失音											0	0.0
	2.4 音程保つ											0	0.0
	2.5 別部分(無)					2	3	2		9		16	23.5
	2.6 前後											0	0.0
	2.7 声域											0	0.0
	2.8 不明										1	1	1.5
	小計	3	4	5	1	21	8	10	0	13	3	68	
	割合(%)	2.0	3.5	3.1	0.7	10.7	2.4	3.4	0.0	4.0	1.1	3.1	
合計		23	7	8	3	34	51	14	2	47	20	209	
割合(%)		15.4	6.1	4.9	2.1	17.3	15.3	4.8	0.9	14.6	7.5	9.4	

「1.1 その1音節」と「1.5 陰平53」は10曲中7曲が、それぞれ有している。

「2.2 向かう」は10曲中9曲が、「2.1 一楽音に」は10曲中6曲が、それぞれ有している。

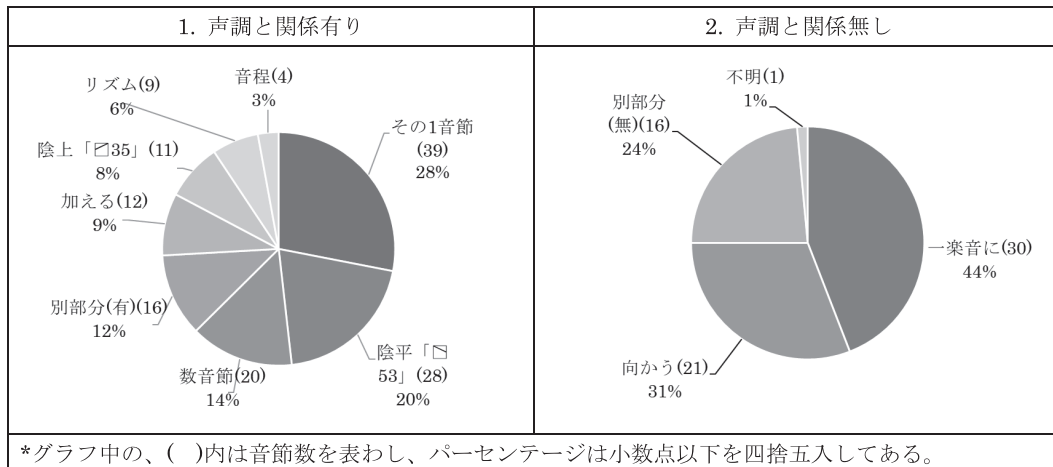
グラフ1



10曲2,215音節中、209音節（音節数合計の9.4%）がオリジナル曲の楽音の高さを変えてある。変えてある理由は、「1. 声調と関係有り」が141音節（音節数合計の6.4%）、「2. 声調と関係無し」が68音節（音節数合計の3.1%）であった（グラフ1参照）。

グラフ2

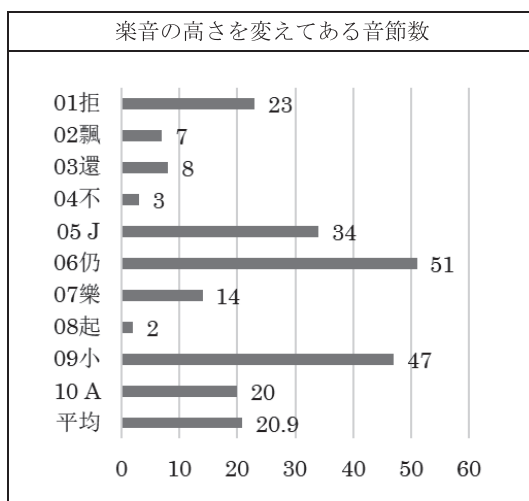
グラフ3



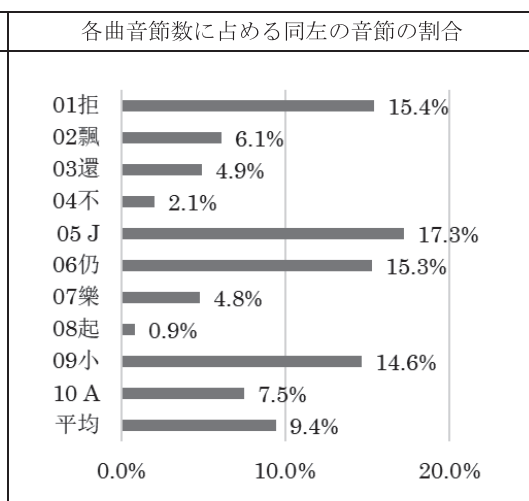
「1. 声調と関係有り」で最も多かったタイプは「1.1 その1音節」の39音節（タイプ「1.」内の割合27.7%）、次いで「1.5 陰平」の28音節（同19.9%）（グラフ2参照）。

「2. 声調と関係無し」で最も多かったタイプは「2.1 一楽音に」の30音節（タイプ「2.」内の割合44.1%）、次いで「2.2 向かう」の21音節（同30.9%）（グラフ3参照）。

グラフ4



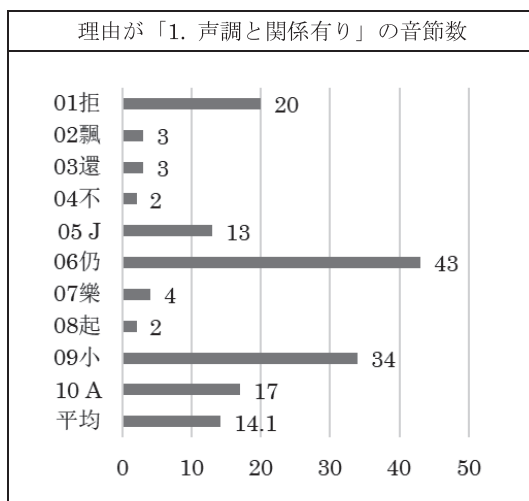
グラフ5



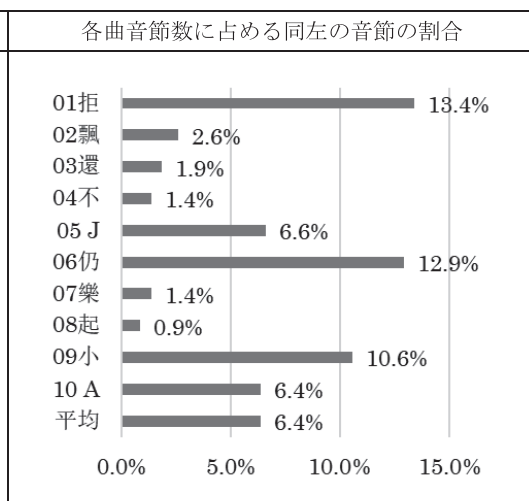
楽音の高さを変えてある音節数が、最も多かったのは6「仍」の51音節。最も少なかったのは8「起」の2音節。平均20.9音節（グラフ4参照）。

各曲音節数に対し、楽音の高さを変えてある割合が、最も高かったのは5「J」の17.3%。最も低かったのは8「起」の0.9%。平均9.4%（グラフ5参照）。

グラフ6



グラフ7

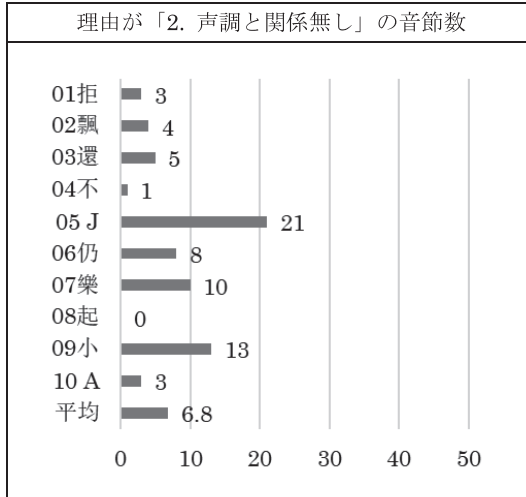


楽音の高さを変えてある理由のうち、「1. 声調と関係有り」の音節数が、最も多かったのは6「仍」の43音節。最も少なかったのは4「不」と8「起」の2音節。平均14.1音節（グラフ6参照）。

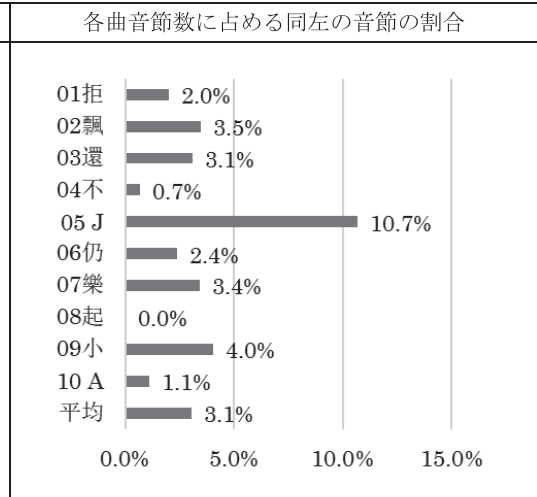
楽音の高さを変えてある理由のうち、「1. 声調と関係有り」の音節の割合が、最も高かったの

は1「拒」の13.4%。最も低かったのは8「起」の0.9%。平均6.4% (グラフ7参照)。

グラフ8



グラフ9



楽音の高さを変えてある理由のうち、「2. 声調と関係無し」の音節数が、最も多かったのは5「J」の21音節。最も少なかったのは8「起」の0音節。平均6.8音節 (グラフ8参照)。

楽音の高さを変えてある理由のうち、「2.」の音節の割合が、最も高かったのは5「J」の10.7%。最も低かったのは8「起」の0%。平均3.1% (グラフ9参照)。

11.2

「音程」タイプについて、これまでの例に、今回新たに見つかった以下の例、

音節末調値5—同1 (調値差4)

「完全8度」(半音13個)では広すぎるので、「長6度」(半音10個)に狭めてある、と考えられる。

ex. 「扔 ying⁴□」(音節末調値1) — 「玩 wun²□」(同5) (7「樂」②)

音節末調値5—同3 (調値差2)

「長2度」(半音3個)では狭すぎるので、「短3度」(半音4個)に広げてある、と考えられる。

ex.1 「天 tin¹□」(音節末調値5) — 「己 yi⁵□」(同3) (1「拒」⑨)

ex.2 「將 zhōng¹□」(音節末調値5) — 「你 nei⁵□」(同3) (5「J」⑩)

音節末調値3—同1 (調値差2)

「完全4度」(半音6個)では広すぎるので、「長3度」(半音5個)に狭めてある、と考えられる。

ex. 「磨 mo⁴□」(音節末調値1) — 「每 mui⁵□」(同3) (6「仍」⑫)

を加えると（囲み部分），表5の如くなる。（表中では，×から○に調整していることを示す。）

表5

音節末調値の組合せ			5-1	5-2	5-3	3-1	3-2	2-1
調値差			4	3	2	2	1	1
音節末調値間の周波数比			1.50	1.49	1.26	1.19	1.18	1.01
音程	半音の数	十二平均律の値 ¹²⁾						
完全8度	13個	2.00	×					
長7度	12個	1.89	↓					
短7度	11個	1.78	○	×				
長6度	10個	1.68	○	↑	↓			
短6度	9個	1.59		×	○			
完全5度	8個	1.50			○	○	○	↓
増4度	7個	1.41			↑	↑	↑	↓
完全4度	6個	1.33			×	○	○	↑
長3度	5個	1.26		×		↑	○	↑
短3度	4個	1.19			↑	○	↑	○
長2度	3個	1.12		×	×	×	×	×
短2度	2個	1.06						×
完全1度	1個	1.00						

注

- 1) 北京大学中文系2003, 千島1991参照。調値は五度法（最高を5, 最低を1とする5段階）で示す。□の中は調値のイメージを表わす。尚，本文中で発音を示すローマ字は千島式を用いる。
- 2) 「陰平」は高平でも高降でも可。
- 3) 拙稿（1）～（5）（2010～2014）および（7）・（8）・（9）（2018・2019・2021）で調査対象とした80曲は，以下の通り。

No.	カバー曲			オリジナル曲		
	年	曲	歌手	年	曲	歌手
1	1985	揺擺口紅	林憶蓮	1984	Rock'n Rouge	松田聖子
2	1985	愛情 I Don't Know	林憶蓮	1985	天使のウィンク	松田聖子
3	1989	再會	關淑怡	1978	オリビアを聴きながら	杏里

J-POP 廣東語カバー曲における声調の楽音への影響 (10)

4	1989	給我親愛的	張學友	1979	いとしのエリー	サザンオールスターズ
5	1990	每天愛你多一些	張學友	1990	真夏の果実	サザンオールスターズ
6	1992	我的親愛	黎 明	1992	もう恋なんてしない	槇原敬之
7	1994	陽光路上	黎瑞恩	1993	大切なあなた	松田聖子
8	2000	其實我很擔心	蘇永康	2000	TSUNAMI	サザンオールスターズ
9	2000	一生中一個你	鄭伊健	2000	桜坂	福山雅治
10	2000	留座	陳慧琳	2000	be alive	小柳ゆき
11	1993	唯獨你是不可取替	許志安	1992	世界中の誰よりきっと	中山美穂 & WANDS
12	1994	廿世紀的戀人們	鄭伊健	1991	ラブ・ストーリーは突然に	小田和正
13	1995	誰令你心痴	張國榮 陳潔靈	1985	恋におちて—Fall in love—	小林明子
14	1995	留住夏季的風	孫耀威	1995	碧いうさぎ	酒井法子
15	1998	悠長假期	譚耀文	1996	LA・LA・LA LOVE SONG	久保田利伸 with ナオミキャンベル
16	1998	AHHHHH!	黎 明	1998	AHHHHH!	久保田利伸
17	1999	DEPARTURES	葉佩雯	1996	DEPARTURES	globe
18	1999	Can you celebrate?	葉佩雯	1997	CAN YOU CELEBRATE?	安室奈美恵
19	2000	我的命運	梁漢文	1999	Squall	福山雅治
20	2001	我還記得我是誰	陳慧珊	1999	あなたのキスを数えましょう —You were mine—	小柳ゆき
21	1984	捕風の漢子	譚詠麟	1983	メリーアン	ALFEE
22	1984	酒紅色的心	譚詠麟	1983	ワインレッドの心	安全地帯
23	1986	癡情意外	陳慧嫻	1985	碧い瞳のエリス	安全地帯
24	1986	藍雨	張學友	1986	レイニーブルー	徳永英明
25	1989	Don't Say Good Bye	譚詠麟	1987	輝きながら…	徳永英明
26	2003	環遊世界	SKY	1998	夜空ノムコウ	SMAP
27	2003	冒險後樂園	SKY	2003	世界に一つだけの花	SMAP
28	2003	不死傳說	陳奕迅	2003	メリッサ	ポルノグラフィティ
29	2005	閉目入神	鄭中基	2004	瞳をとじて	平井 堅
30	2006	3 + 1 = 1	Sunboy'z	2006	PRECIOUS ONE	KAT-TUN
31	1984	愛的替身	譚詠麟	1983	思い出がいっぱい	H ₂ O
32	1994	愛的故事（上集）	孫耀威	1993	ロード	THE 虎舞竜
33	1995	正在愛	陳曉東	1995	シーソーゲーム ～勇敢な恋の歌～	Mr. Children
34	1999	Feel Like dance	葉佩雯	1995	Feel Like dance	globe

35	1999	Can't Stop Falling in Love	葉佩雯	1996	Can't Stop Fallin' in Love	globe
36	2004	假如我是假的	蕭正楠	2003	さくら（独唱）	森山直太朗
37	2007	我信	王友良	2006	Precious	伊藤由奈
38	2008	陰天假期	衛 蘭	2005	Endless Story	伊藤由奈
39	2009	給自己的信	鍾舒漫	2008	手紙 ～拝啓 十五の君へ～	アンジェラ・アキ
40	2010	再見不再見	陳柏宇	2009	僕は君に恋をする	平井 堅
41	1987	太陽星辰	張學友	1987	BIRDS	徳永英明
42	1991	壯志驕陽	張學友	1990	愛は勝つ	KAN
43	1991	Oh! 夜	黎 明	1991	Oh! Yeah!	小田和正
44	1992	一夜傾情	黎 明	1984	恋の予感	安全地帯
45	1992	紅日	李克勤	1991	それが大事	大事MANブラザーズバンド
46	1992	喜歡你是你	許志安	1992	涙のキッス	サザンオールスターズ
47	1993	Chotto 等等	鄭秀文	1993	チョット	大黒摩季
48	1994	心血	許志安	1993	翼を広げて	DEEN
49	1994	陽光	黎 明	1993	All My Loving	福山雅治
50	1994	朋友心	許志安	1994	空と君のあいだに	中島みゆき
51	1984	逝去的愛	梅艷芳	1979	ラヴ・イズ・オーヴァー	欧陽菲菲
52	1984	H ₂ O	張國榮	1980	TOKIO	沢田研二
53	1984	MONICA	張國榮	1984	モニカ	吉川晃司
54	1985	第一次約會	林憶蓮	1983	時をかける少女	原田知世
55	1992	胡思亂想	陳慧嫻	1971	さらば恋人	堺 正章
56	1992	情人知己	葉倩文	1981	男と女	チャゲ&飛鳥
57	1993	若你真愛我	王 菲	1981	悪女	中島みゆき
58	1994	懲罰你	黎 姿	1983	春なのに	柏原芳恵
59	2005	只要你愛我	鄭中基	2004	彩～ Aja ～	サザンオールスターズ
60	2010	原諒我要高飛	陳柏宇	2009	YELL	いきものがかり
61	1977	心曲	甄妮	1977	勝手にしやがれ	沢田研二
62	1978	六月天	陳秋霞	1975	木綿のハンカチーフ	太田裕美
63	1982	紫玉墜	張德蘭	1979	さよなら	オフコース
64	1984	初戀	林志美	1983	初恋	村下孝蔵
65	1987	讓一切隨風	鍾鎮濤	1975	時の過ぎゆくままに	沢田研二
66	1987	手掌上的電話號碼	露雲娜	1984	元気を出して	薬師丸ひろ子

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (10)

67	1991	明月光	劉彩玉	1979	愛を止めないで	オフコース
68	1992	容易受傷的女人	王 菲	1979	ルージュ	中島みゆき
69	1995	拋拋	陳慧嫻	1995	青いイナズマ	SMAP
70	2007	花無雪	泳 兒	2003	雪の華	中島美嘉
71	1986	跳舞街	陳慧嫻	1985	ダンシング・ヒーロー (Eat You Up)	荻野目洋子
72	1987	貪貪貪	陳慧嫻	1986	六本木純情派	荻野目洋子
73	1987	裝飾的眼淚	梅艷芳	1987	駅	竹内まりや
74	1990	離別	鄭秀文	1989	シングル・アゲイン	竹内まりや
75	1993	電話愛人	草 薺	1990	告白	竹内まりや
76	1994	9990 次想她	鄭伊健	1992	シュラバ★ラ★バンバ (SHULABA-LA-BAMBA)	サザンオールスターズ
77	1994	海角天涯	周華健	1993	島唄	THE BOOM
78	1995	月亮下求你一吻	黎 明	1993	エロティカ・セブン (EROTICA SEVEN)	サザンオールスターズ
79	2003	滿天飛	盧巧音	2003	true blue	ZONE
80	2007	不再同哭	王友良	2002	もらい泣き	一青窈

- 4) 「長2度」とは、起点から終点まで、起点と終点を含めて数えて、半音3個分の音程を指す。例えば、「do」を起点として上に向かうと、「re」を終点とする音程。ここでは、「re」を起点として、下に向かって「do」を終点とする音程。
- 5) 「短3度」とは、起点から終点まで、起点と終点を含めて数えて、半音4個分の音程を指す。例えば、「do」を起点として上に向かうと、「mi^b」を終点とする音程。ここでは、「re」を起点として、下に向かって「si」を終点とする音程。
- 6) 「長2度」については、4) 参照。ここでは、「sol」を起点として、下に向かって「fa」を終点とする音程。
- 7) 「短3度」については、5) 参照。ここでは、「sol」を起点として、下に向かって「mi」を終点とする音程。
- 8) 「完全4度」とは、起点から終点まで、起点と終点を含めて数えて、半音6個分の音程を指す。例えば、「do」を起点として上に向かうと、「fa」を終点とする音程。ここでは、「do」を起点として、上に向かって「fa」を終点とする音程。
- 9) 「長3度」とは、起点から終点まで、起点と終点を含めて数えて、半音5個分の音程を指す。例えば、「do」を起点として上に向かうと、「mi」を終点とする音程。ここでは、「do」を起点として、上に向かって「mi」を終点とする音程。
- 10) 「完全8度」とは、起点から終点まで、起点と終点を含めて数えて、半音13個分の音程を指す。例えば、「do」を起点として上に向かうと、1つ上の「do」を終点とする音程。ここでは、「fa[#]」を起点として、下に向かって1つ下の「fa[#]」を終点とする音程。
- 11) 「長6度」とは、起点から終点まで、起点と終点を含めて数えて、半音10個分の音程を指す。例えば、「do」を起点として上に向かうと、「la」を終点とする音程。ここでは、「fa[#]」を起点として、下に向かって「la」を終点とする音程。

- 12)「十二平均律」とは、1オクターブ（例えば、「do」から一つ上の「do」まで）を12等分した音程。小数点以下第3位を四捨五入。

参考文献（参考文献は発行年順に並べた。）

- 石桁真礼生・丸田昭三・金光威和雄・末吉保雄・飯田隆・飯沼信義1965『楽典 理論と実習』, 音楽之友社。
- 下中邦彦 編集発行1983『音楽大事典』第5巻, 「平均律」の項, 平凡社。
- 張丹 主編1984《中文多用字典》, 天宇圖書公司出版。
- Marjorie K. M. Chan 1987 “Tone and Melody in Cantonese”, Berkeley Linguistic Society, Proceeding of the 13th Annual Meeting, 1987, pp. 26-37, U.S.A.。
- 千島英一1991『標準広東語同音字表』, 東方書店。
- 香港・萬里機構出版有限公司+東方書店1996『広東語辞典 ポケット版』, 東方書店。
- 白宛如1998《廣州方言詞典》, 江蘇教育出版社。
- 張双庆、林建平1999《香港話音檔》, 上海教育出版社。
- スティーブン・マッシュューズ&ヴァージニア・イップ2000『広東語文法』, 千島英一&片岡新訳, 東方書店。(Stephen Matthews and Virginia Yip 1994 “Cantonese: A Comprehensive Grammar”の日本語訳。)
- 北京大学中文系2003《汉语方音字汇》(第二版重排本), 语文出版社。
- 千島英一2005『東方広東語辞典』, 東方書店。
- Ho, Wing See Vincie 2006 “The tone-melody interface of popular songs written in tone languages”, 9th International Conference on Music Perception and Cognition, 2006, pp. 1414-1422, Italy。
- 矢部公啓2008『カラオケ・ファンに贈る 音楽用語解説』, ドレミ楽譜出版社。
- 飯田真紀2009「広東語の歌の話」, 『TONGXUE』第38号, pp. 16-19。
- 劉振盛2010《廣州話普通話詞典》, 商務印書館。
- 樋口勇夫2010「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』22-1, pp. 17-40。
- 樋口勇夫2011「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響(2)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』23-1, pp. 33-62。
- 麥耘、譚步雲2011《實用廣州話分類詞典》, 商務印書館。
- 樋口勇夫2013a「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響(3)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』24-2, pp. 83-125。
- 樋口勇夫2013b「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響(4)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』25-1, pp. 13-58。
- 樋口勇夫2014「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響(5)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』26-1, pp. 21-57。
- 樋口勇夫2015a「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響(1)～(5)まとめ(その1)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』26-2, pp. 45-86。
- 樋口勇夫2015b「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響(1)～(5)まとめ(その2)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』27-1, pp. 11-49。
- 樋口勇夫2016「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響(6)―共通語カバー曲と比較して―」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』28-1, pp. 41-53。

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (10)

樋口勇夫2018「J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (7)」,『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』30-1, pp. 1-44。

樋口勇夫2019「J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (8)」,『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』31-1, pp. 1-69。

樋口勇夫2021「J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (9)」,『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』33-1, pp. 1-64。

音源および歌詞の資料

カバー曲

No.	曲名	歌手	作詞	編曲	年	レーベル	所収アルバム
1	拒絶再玩	張國榮	林振強	唐奕聰	1987	Cinepoly	『Summer Romance』(1987)
2	飄雪	陳慧嫻	簡 寧	趙增熹	1991	Poly Gram	『歸來吧』(1991)
3	還是覺得你最好	張學友	劉卓輝	趙增熹	1992	Poly Gram	『愛火花』(1992)
4	不敢說我愛你	古巨基	杜雯惠	Crockette	1998	Sony Music Entertainment	『愛與夢飛行』(1998)
5	JR 幹線	小雪	韋嘉華	梁偉堅	2000	亞洲第一唱片	『Innovation』(2000)
6	仍是這首歌	王 喜	林泳頤	李衡碩	2001	avex hong kong	『喜新唱歌』(2001)
7	樂園	梁浩賢	周耀輝	李漢金	2001	Capital Artists	『Ho Yin AVEP』(2001)
8	起飛	高晨維	陳少祺	唐奕聰	2001	新力唱片	『我不是天使』(2001)
9	小怪物	王 喜	王 喜	—	2002	avex hong kong	『我信…王喜』(2002)
10	Again	王 喜	陳少祺	Wayland Lee	2002	avex hong kong	『起身叫我』(2002)

オリジナル曲

No.	曲名	歌手	作詞	作曲	年	レーベル
1	じれったい	安全地帯	松井五郎	玉置浩二	1987	Kitty Records
2	花咲く旅路	原 由子	桑田佳祐	桑田佳祐	1991	タイシタレーベル
3	愛してる	米米 CLUB	米米 CLUB	米米 CLUB	1992	Sony Records
4	Love is …	河村隆一	河村隆一 吉田美智子	吉田美智子	1997	gai RECORDS
5	愛しい人	MISIA	MISIA	MISIA	1999	BMG ファンハウス
6	サヨナラバス	ゆず	北川悠仁	北川悠仁	1999	セーニャ・アンド ・カンパニー
7	樂園	平井 堅	阿閉真琴	中野雅仁	2000	ソニー・ミュージック レコーズ

8	Why	平井 堅	平井 堅	松原 憲	2000	デフスターレコーズ
9	嗚呼、青春の日々	ゆず	北川悠仁	北川悠仁	2000	セーニャ・アンド ・カンパニー
10	アゲイン2	ゆず	北川悠仁	北川悠仁	2002	セーニャ・アンド ・カンパニー

付記

本稿執筆にあたり，今回も楽譜についてご助言を賜った，元本学職員でオルガニストの有田知子氏に，感謝申し上げたい。（但し，楽譜に間違いがある場合は，全て筆者の責任に帰する。）